

# 高齢者夫婦のためのペアアクセサリー

## Pair accessories for elderly couples

濱松 優花

指導教員 谷上欣也

サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 プロダクトデザイン研究室

キーワード：高齢者・アクセサリー

### 1. 研究目的

近年、社会では少子高齢化が進み、老後のことを早いうちから考える事が増えてきた。

死別により、孤独感を抱く人も多いことから、その孤独感を軽減する研究を行う。

夫婦二人でアクセサリーを作り、二人の思い出を老後も身に付けられる物にしたいと考えている。また、死別後の孤独感の軽減や、社会とコミュニケーションをとるきっかけを作ることによって孤独死や、認知症防止を目指す。

### 2. 調査内容

高齢の装飾品についての調査と、結婚から老後を調査した。また、若くから老後も身に付けるので、年齢関係なく身に付けられる様な物を前提に以下の調査項目からキーワードを用いてデザイン提案を行う。

#### ・コミュニケーション環境

独り暮らしの確立や、外出の頻度と公共のサービス機関の利用している回数を調査した[図1][図2]。その結果、娘や息子と同居しているケースが多く見られ、公的サービスの利用が少ないことが分かった。外出に関しては女性の方が多く、買い物や自治会などに参加しているケースも見られた。



図1. コミュニケーション環境グラフ

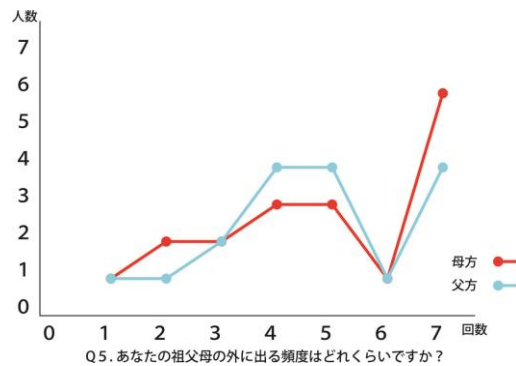


図2. 外出の頻度

#### ・身につけているもの

高齢者 20 人にリサーチした結果、ブローチ、ネックレス、腕時計が多く身に付けられ、指輪が最も身に付けられないという調査結果を得た[図3]。指輪に関しては、水仕事をするから着けられない、サイズが変わってしまっただけで着けられなくなったというのが主な理由であった。

女性に措いては、冠婚葬祭で使用する真珠のアクセサリーを持っている人が多く、極めて高い確率で購入している事がわかった。

女性	男性
1位 ブローチ	1位 腕時計
2位 ネックレス	2位 メガネ
3位 腕時計	3位 帽子

図3. 高齢者の身に着けているもの

・結婚指輪、嫁入り道具、婚礼道具

結婚指輪のルーツと今後の発展について考察した。その結果、結婚指輪が必要かという質問に対し、必要でないという答えが10%だった。しかし、心理的な面での解説で、多くが金銭面で遠慮している等の理由が大半であり、本心から必要ないと思っている人は1~2%であると言われている。日本の文化である嫁入り道具についても調査した。その結果嫁入り道具を持つての嫁入りが少なくなっていた。その背景には物が大きすぎて新居に持ち込めない(衣装タンスや鏡台など)との理由があった。

以上のことから、いくつかのキーワードが上げられる。

体のサイズに関係なく着用できるアクセサリと、冠婚葬祭で使えるシンプルなデザインというキーワードに至った。

・既存品

故人の遺骨を入れて身に付ける遺骨ペンダント、二人で作れる婚約・結婚指輪(ペアリング)キット、若年層向けのペアアクセサリ等が上げられる。だが、いずれも高齢者に向けられた物が少なく、遺骨ペンダントに関しては倫理的批判が多かった。このように高齢者のペアアクセサリに相当するものはなかった。

### 3. コンセプトおよびアイデア展開

コンセプト:「貴方と共に」

二人で作った思い出を共に身に着けるという意味でこのコンセプトとした。

製作物はペンダントヘッド、ブローチのいずれかを想定し、植物、貝の長寿や夫婦円満の意味合いを持つものをモチーフとしてアイデア展開を進めた[図4]。歳を重ねながらアクセサリを発展させていく仕組みも考えている。

### 4. 段階の最終提案

結婚と同時に購入→二人で作成→身に付ける→片方が亡くなった時に組み合わせるといった流れの使用パターンと、娘や息子、孫からプレゼントしてもらい→二人で作成→身に付ける→片方が亡くなった時に組み合わせるといった使用パターンを考えた。

嫁入り道具として使われた貝や、誕生石、言葉や意味を持つ植物(心に明かりを灯して温かく先を照らしてくれる鬼灯、吉兆の桃など)をモチーフにアイデア展開を進めた。

ペアの組み合わせ方は上下に噛み合う構造と、真珠や宝石をはめて組み立てる仕様となっている。

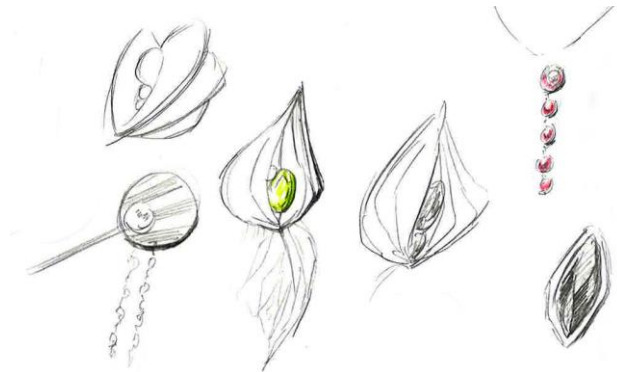


図4. アイデアスケッチ

### 5. 今後の展開

歳と同時にパーツを増やせるようなデザイン案も新しく展開していく。

モチーフを決め、構造を立体に起し、使用パターンを決定する。その後モデルの作成を行う。

新しい市場の開拓と同時に検証を行い、どう思うかの意見を募る。

### 6. 参考文献

[1]山岸 裕美子: 高齢者の知的満足感を伴うおしゃれによる変化 - 芸術作品を用いたアクセサリの製作とそれを中心とする装い -

(参照 2017-4-17)

[2]MYLOHAS: 叩き跡は愛の証。自宅でペアリングが作れる手作りキット

<https://www.mylohas.net/2015/11/050810ring.html>、(参照 2017-9-11)